

# 令和5年度

# 事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日



# <基本目標 I> 安心して自分らしく生活ができるための包括的支援体制の充実

## 第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿①「誰もが、ともに生きるまち」

### 《相談支援・権利擁護部門》

#### 各種事業の推進、総合相談機能の強化

※各事業の財源の表記については以下の順で表記します。

(財源) R5 年度決算額【R4 年度決算額】

#### 1 旭区ボランティアセンター

(市受託金・事業収入)572 千円【504 千円】

昨年に引き続きコロナ禍で休止していたボランティア活動が再開され、新しくボランティア活動をされる方も増えた一年だった。地域のつながりが途切れることなく、活動が継続できるよう情報発信や団体支援を行った。また、講座を実施し新しく活動をしたという方の支援に努めた。

#### (1) ボランティア相談調整、登録者数等【拠点運営ボランティア活動事業】

##### 【相談調整】

( ) は前年度実績

対象/件数	依頼件数	紹介件数	紹介人数	調整数
児童	11 (11)	4 (5)	14 (6)	178 (80)
障害	40 (33)	13 (12)	40 (25)	487 (396)
高齢	65 (29)	34 (17)	77 (25)	851 (319)
外国人	1 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)
限定せず	15 (9)	9 (4)	59 (20)	308 (241)
その他	19 (8)	11 (3)	29 (12)	339 (90)
合計	151 (90)	71 (41)	219 (88)	2175 (1126)

##### 【登録者数】

個人	345(うち新規 45)人	前年度：300 人
団体	178(うち新規 2)団体	前年度：176 団体

##### 【ニーズ対応率】

47% (46%)

#### (2) ボランティア情報の発信【拠点運営ボランティア活動事業】

①ボランティアセンター広報紙「ボランティアセンターニュース」を発行。

(発行回数：年2回)

②旭区ボランティアセンターに寄せられるボランティアニーズ情報や活動メンバーの募集等、関連情報を区社協ホームページに随時掲載した。



ボランティアセンターニュース



区社協ホームページ

(3) ボランティア講座の開催 【拠点運営ボランティア活動事業】

講座名	はじめませんか、ボランティア活動～ボランティア入門講座～				
日 程	① 9月19日(火) ②11月22日(水) ③3月14日(木)				
場 所	旭区福祉保健活動拠点				
内 容	市民活動支援センターみなくるの協力のもと実施。旭区ボランティアセンターの紹介、ボランティアの基礎知識、活動例の紹介、ガイドボランティア事業(移動情報センター)の紹介、市民活動支援センターみなくるの役割・活動紹介、マッチング相談。				
参加者	① 4人②7人③8人				
講座名	傾聴入門講座(全2回開催)				
日 程	①12月8日(金) ②12月22日(金)				
場 所	旭区福祉保健活動拠点				
内 容	(1) 講義 (2) グループワーク 傾聴の心構え、技法を身につけるため、話し手と聞き手の両方を体験。 (3) 旭ふれあいコールの見学(別日程) 講師：日本産業カウンセラー協会 神奈川支部 地域連携委員会 高石 裕次氏 他6名 共催：ボランティア活動団体「旭ふれあいコール」				
参加者	31名(うち、9名は旭ふれあいコール)				
講座名	障害者支援ボランティア講座				
日 程	1月19日(金)				
場 所	旭区福祉保健活動拠点				
内 容	(1) 講義 (2) グループディスカッション 講話を聞いて感じたこと、障害施設でボランティア活動をするとしたらどんなことをしたいか、などについて意見交換。 (3) ボランティア体験(別日程) 受け入れ先：社会福祉法人 夢21福社会「まどか工房」 NPO法人 活動ホームふたまたがわ 講師：社会福祉法人 夢21福社会「まどか工房」 所長 新倉 朋矢氏 サービス管理責任者 種市 朋子氏 NPO法人 活動ホームふたまたがわ 施設長 廣岡 泰征氏				
参加者	12人				

(4) 福祉関連物品の貸出・整備 【拠点運営ボランティア活動事業】( )は前年度実績

名 称	車イス	高齢者疑似体験セット	アイマスク	点字器	白杖
貸出件数	83 (68)	12 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度は高齢者疑似体験セット、アイマスク、点字器、白杖の貸出を中止していました。

(5) 助成金に関する情報収集・情報提供【拠点運営ボランティア活動事業】  
他団体の助成金事業や民間の助成金事業の情報収集を行い、情報提供を行った。

(6) ボランティアセンター運営委員会の開催【センター運営事業】

第1回	日 程	9月13日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人
	内 容	(1) 自己紹介および委員長の選任について (2) 令和4年度旭区ボランティアセンターの事業報告について (3) 令和5年度旭区ボランティアセンターの取組状況について (4) ボランティアニーズへの対応・コーディネート事例について
	結 果	(1) 平野委員が選任された。(2)(3) 承認された。(4) 検討した。
第2回	日 程	2月20日(火)
	人 数	6人
	内 容	(1) 令和5年度の取組について (2) 令和6年度旭区ボランティアセンターの事業計画(案)について (3) 令和5年度善意銀行寄付状況および令和6年度善意銀行配分計画について ①令和5年度善意銀行金銭寄付・配分状況について ②令和6年度善意銀行配分計画について (4) その他 次年度の委員会について
	結 果	(1) 報告した。(2)(3) 承認された。 (4) 次回開催予定月を決定した。

(7) ボランティア保険の事務手続き【センター運営事業】( )は前年度実績

受付件数	560(582)
請求・返戻等対応件数	42(7)

## 2 移動情報センターあさひ

移動情報センター運営(市受託金収入、会費収入)  
8,902千円【8,292千円】  
ガイドボランティア事業(市補助金収入)  
2,037千円【2,777千円】

障害児者にとって日常生活の課題である「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族からの相談に応じ、支援を行った。

また、相談に関して関係機関との情報および支援の方向性の共有を図った。

【相談件数】233件( )は前年度実績

障害種別	件数	障害種別	件数
身体障害	44(57)	知的障害	87(82)
精神障害	18(20)	重複障害	21(20)
難病	4(-)	その他(高齢)	59(60)
合計 233(239)		※難病については今年度からカウントのため前年度実績なし	

【相談内容】233件（ ）は前年度実績

相談内容	件数	相談内容	件数
通院	45(70)	余暇	33(35)
通学・通所	101(98)	制度説明	41(24)
急を要する移動	4 (-)	その他	9 (12)
合計 233 (239)		※急を要する移動については今年度からカウントのため前年度実績なし	

(1) 移動情報センター推進会議

第1回	日 程	6月30日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	12人
	内 容	(1) 令和4年度移動情報センターあさひ事業報告について (2) 令和4年度移動情報センターあさひ推進会議について (3) 令和5年度移動情報センターあさひ事業計画について (4) 情報交換
	結 果	(1)(2)(3) 報告した。(4) 情報交換を行った。
第2回	日 程	2月28日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	15人
	内 容	(1) 移動情報センターあさひ相談受付状況について (2) 令和6年度移動情報センターあさひ事業計画について (3) 相談ケースから見えてきた課題や傾向、支援のあり方について (4) 意見交換
	結 果	(1)(2)(3) 報告した。(4) 情報交換を行った。

(2) ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの確保に努め、移動支援をきっかけとした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

【ボランティア登録者・支援対象者数】 ( )は前年度実績

ガイドボランティア登録者(人)	81(85)
ガイドボランティア支援対象者(人)	67(71)

(3) ガイドボランティアの養成とスキルアップを目的に、講座・交流会を開催した。

講座名	ガイドボランティア養成講座～知的障害・発達障害児者の支援～について
日 程	10月31日(火)
場 所	笹野台地域ケアプラザ
人 数	24人
内 容	(1) 瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama による講演 (2) 意見交換
交流会名	ガイドボランティア交流会
日 程	11月28日(火)

場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	15 人
内 容	(1) 神奈川県立瀬谷支援学校 連携支援室教員による講演 (2) 意見交換



ガイドボランティア養成講座の様子  
講師：瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama



ガイドボランティア交流会の様子  
講師：瀬谷支援学校 連携支援室

### 3 旭区あんしんセンター

(市社協委託料)(利用料収入)688 千円【728 千円】

権利擁護事業から成年後見制度への移行など権利擁護に関して、サポートネット等関係者と連携しながら適切な制度利用となるように調整した。さらに成年後見人等候補者調整会議を利用したことにより迅速な後見制度移行ができた。

また、現契約者の対応回数や対応銀行の見直しをすることで、権利擁護事業の新規受け入れが可能になり、待機者を大幅に減らすことができた。

#### (1) 権利擁護事業

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象として、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、以下のサービスを実施した。

- ① 福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ② 預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

( ) は前年度実績

内容		実績
初回相談件数(件)		67 (81)
サービス	定期訪問・金銭管理サービス件数(件)	84 (86)
	預かりサービス件数(件)	8 (10)
利用者総数(人)		84 (86)
新規利用者数(人)		17 (18)
終了利用者数 (人)		19 (17)
成年後見制度移行件数		4 (4)

#### (2) 市民後見人養成・活動支援事業

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人の養成および活動支援を行った。

- ① 市民後見人登録者との面談の実施 2 回
- ② 旭区内市民後見人バンク登録者 4 人 (後見人受任者 4 人)

### (3) 権利擁護事業・成年後見制度普及啓発

日程	内容・対象
9月8日(金)	権利擁護事業説明(社会福祉士分科会@二俣川地域ケアプラザ)
9月28日(木)	権利擁護事業説明(旭区新任ケアマネ研修@旭区役所)
11月10日(金)	権利擁護事業説明(社会福祉士分科会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ)

### (4) 成年後見サポートネット専門職会議への参加

日程	6月22日(木)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 第4四半期報告の共有 (2) 障害者支援担当のケース共有
日程	9月12日(火)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 第1四半期報告の共有 (2) 障害者支援担当のケース共有
日程	11月21日(火)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 第2四半期報告の共有 (1) あんしんセンターのケース共有
日程	3月6日(水)
場所	旭区役所 5号鍵室
内容	(1) 第3四半期報告の共有 (2) アセスメントシートの共有 (3) 障害者支援担当のケース共有

### (5) 成年後見サポートネット全体会への参加

日程	6月22日(木)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 横浜成年後見推進センターと市あんしんについて (2) グループワーク
日程	9月12日(火)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 8050問題事例について (2) グループワーク
日程	11月21日(火)
場所	旭区役所 大会議室
内容	(1) 基幹相談支援センターの業務について (2) グループワーク

#### (6) 市民後見サポートネットの開催

日 程	10月13日(金)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
内 容	(1) 住み慣れた地域でこれからも本人らしく暮らすために (事例発表) (2) グループワーク

## 4 生活福祉資金貸付事業

(県社協受託金収入) 3,494 千円【5,794 千円】  
(特例貸付) 1,400 千円【2,268 千円】

特例貸付(緊急小口、総合支援資金)を中心に、新型コロナウイルスの影響がまだまだ残る生活状況や、物価高騰により生活に窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯の償還状況について把握し、その世帯に妥当な償還方法を審査機関につなげた。

特例貸付については、令和4年9月末をもって制度対応が終了し、令和5年1月から償還支援を開始した。

また、特例貸付以外の低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的とした各種資金貸付の案内・申請事務にあたった。

あわせて、日頃より申請手続きにご協力いただいている民生委員等に対しては、希望に応じて制度概要の説明などを行った。

#### 【特例貸付償還相談・事務対応件数】

生活福祉資金(特例貸付)	償還相談件数	免除・猶予申請取扱件数	貸付金額(円)
緊急小口資金	177	9	—
総合支援資金	174	8	—
合 計	351	17	

#### 【本則貸付相談件数、貸付件数・金額】

生活福祉資金(本則貸付)	相談件数	貸付決定件数	貸付金額(円)
総合支援資金貸付	15	0	0
臨時特例つなぎ資金貸付	9	0	0
緊急小口資金貸付	212	4	400,000
福祉資金(生活必需品・車両購入等)	3,222	4	662,000
福祉資金(教育支援資金)		49(辞退含む)	29,719,000
不動産担保型生活資金	194	1	22,050,000
合 計	3,652	58	52,831,000

## 5 生活に困難を抱える方々への支援

深刻かつ見えにくい課題を抱える人たちを身近な地域で把握し、個別の課題を地域の課題として捉え、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

- (1) 福祉の相談窓口として、住民から寄せられる様々な相談・悩みごとを受け止め、対応に努めた。また、旭区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、個別に対応するだけでなく、地区社協や民生委員等の住民福祉活動とあわせ、専門職等とのネットワークにより生活問題の把握や相談者との関係づくりに努め、フォーマ

ル・インフォーマルネットワークを活かした問題解決の取り組みを行った。

( ) は前年度実績

相談内容	相談件数	うち個別支援に関する相談件数
生活困窮者支援に関する相談（食支援含む）	86 (133)	86 (133)
地域支援に関する相談	74 (84)	10 (3)
法人運営に関する相談	4 (11)	-
団体事務に関する相談	5 (11)	-
一般（寄付）に関する相談	22 (38)	-
合 計	191 (277)	96 (136)

(2) 職員の相談対応力の強化

複雑化・複合化した地域住民の支援ニーズに応じていくために、内部研修会や事例検討を通じて、職員の相談対応力の強化を図るとともに、地域支援につながる取組について、内部検討を実施し、個別課題の顕在化・共有化を図った。

(3) 要援護世帯への支援と他機関連携

様々な事情により生活課題を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関との連携により支援した。

(4) 生活困窮者への緊急食料等の支援

緊急的に食料が必要な方や、経済的に困窮され、安定した生活や自立した生活に戻るために意欲的に取り組んでいる世帯に向けて、その一助としてセカンドハーベストジャパン、フードバンクかながわと連携し、食料支援を実施した。

【利用件数】

( ) は前年度実績

支援機関名	利用世帯数 / 利用回数
セカンドハーベストジャパン	45 世帯 (41 世帯) / 62 回 (62 回)
フードバンクかながわ	49 世帯 (58 世帯) / 67 回 (86 回)

(5) 火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。 10 件 115,000 円

(6) 低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。 3 件 1,640 円

## <基本目標Ⅱ> 多様な主体による支え合いの地域づくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿②「みんなが、声をかけあえるまち」

### 《地域福祉推進部門》

#### 地区社協活動の支援

(会費収入・市社協補助金・共同募金)4,642 千円【5,645 千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ、情報提供や助成等の支援を行った。身近な地域での困りごとを早期に発見し、地域社会からの孤立を防ぎ、支援につなげるため、地区社協を中心とした見守りの仕組みづくり「ご近助 ほっこり活動」を推進した。

#### 1 地区担当制による相談・調整・活動支援(地区社協活動費の交付等)

(1) 地区社協活動に関する相談・調整・活動支援

①区内 19 の地区社協の活動支援を目的として地区社協活動費の交付を行った。

【地区社協活動費】5,548,000 円

(単位：円)

	地区名	市社協補助金	区社協助成					合計
			均等配分	世帯数 按分	ホーム ページ	広報紙	見守り	
1	鶴ヶ峰	50,000	160,000	84,000	-	10,000	-	304,000
2	白根	50,000	160,000	44,000	-	50,000	-	304,000
3	旭北	50,000	160,000	65,000	-	10,000	-	285,000
4	上白根	50,000	160,000	20,000	-	-	-	230,000
5	今宿	50,000	160,000	43,000	-	50,000	-	303,000
6	川井	50,000	160,000	41,000	-	-	30,000	281,000
7	若葉台	50,000	160,000	48,000	30,000	70,000	30,000	388,000
8	笹野台	50,000	160,000	36,000	30,000	50,000	-	326,000
9	希望が丘中	50,000	160,000	32,000	-	-	-	242,000
10	希望が丘南	50,000	160,000	51,000	-	10,000	-	271,000
11	希望が丘東	50,000	160,000	28,000	-	50,000	-	288,000
12	さちが丘	50,000	160,000	40,000	-	10,000	-	260,000
13	万騎が原	50,000	160,000	34,000	30,000	50,000	-	324,000
14	二俣川	50,000	160,000	51,000	-	10,000	-	271,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	160,000	37,000	30,000	70,000	-	347,000
16	旭中央	50,000	160,000	18,000	-	10,000	-	238,000
17	旭南部	50,000	160,000	35,000	-	10,000	-	255,000
18	左近山	50,000	160,000	41,000	-	70,000	-	321,000
19	市沢	50,000	160,000	20,000	-	50,000	30,000	310,000
	合計	950,000	3,040,000	768,000	120,000	580,000	90,000	5,548,000

区社協助成については、共同募金(年末たすけあい)を財源とし助成を行った。

ホームページの開設・運営：30,000 円

広報紙等の発行：年 1 回以上 10,000 円、年 4 回以上(全戸配布) 50,000 円、

年 6 回以上(全戸配布) 70,000 円

ご近助ほっこり活動推進：上限 30,000 円

- ②各地区に担当職員を配置し、地域活動状況や地域課題を踏まえ、必要な話し合いの場づくりや地域活動団体同士のネットワークづくりを支援した。
- ③区社協に寄せられた個別相談を地区社協等につなげ、地域の中で個人の困りごとについての対応を検討する話し合いの場をつくった。
- ④区社協内では、地区担当職員間の情報共有や地区支援の方向性の検討を目的とした「地区支援勉強会」を年8回開催した。その他には、地区社協等の地域活動支援について地区ごとに地域ケアプラザと情報交換、支援方法の検討をした。

(2) 情報共有・提供の場の開催・分科会、研修会の実施

地区社会福祉協議会分科会（P31 - P33 参照）を開催し、情報交換会や研修会を行った。（奇数月の年6回）

各地区社協の広報紙や地区社協に関連するお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として情報提供を行った。（偶数月の年6回）

(3) 見守り活動「ご近助 ほっこり活動」の推進

地区担当を中心に各地区の状況にあわせて見守り活動について話し合う機会や研修会、情報交換会の開催を働きかけ、他地区の取組方法の共有などを行い見守り活動を推進した。また、「あさひいきいき宣言（旭区社協だより）」を通じて、地区での見守り活動の取組みを紹介し、見守り活動への理解を広めるための啓発を行った。

## ボランティア・市民活動団体への支援

### 1 地域福祉活動の充実に向けた支援

（会費収入・市社協補助金・共同募金・善意銀行・福祉基金）  
11,039 千円【10,151 千円】

(1) ふれあい助成金、区社協独自助成金等の配分

区内の地域福祉関係団体（ボランティア・当事者団体等）や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。（P38～P41 参照）

【助成金審査委員会】

助成金審査委員会において助成金制度の円滑な運営と適正な執行、申込団体の審査、制度の検討等を行った。

第 1 回	日 程	6月6日（火）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	4名
	内 容	(1)令和4年度あさひふれあい助成金の助成結果について (2)令和5年度あさひふれあい助成金の審査について (3)令和4年度旭区地域福祉活動団体助成の結果について (4)令和5年度旭区地域福祉活動団体助成の審査について (5)令和5年度ボランティア活動備品購入助成金の審査について (6)令和5年度旭区社協独自助成金の助成状況について
	結 果	(1)～(5)承認された。(6)報告した。

第2回	日程	2月15日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	4名
	内容	(1)令和5年度助成金交付団体へのヒアリング結果について (2)令和6年度あさひふれあい助成金について (3)令和6年度の助成金審査委員会について (4)令和5年度旭区社会福祉協議会独自助成金の助成結果について (5)令和6年度旭区社会福祉協議会独自助成金の見直しについて
	結果	(1)(2)(3)(5)承認された。(4)報告した。

### 【あさひふれあい助成金】

市社協補助金・共同募金配分金・善意銀行を財源として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。助成団体には、共同募金の受配団体であることを活動チラシに明記することや、街頭募金活動への協力等を依頼した。

区分		助成件数	助成金額(円)
要援護者支援	集いの場	54	5,375,000
	家事・生活支援活動	7	590,000
	配食	6	1,080,000
	送迎	4	1,150,000
障害当事者支援	障害当事者活動	10	660,000
	宿泊日帰り	0	0
	視聴覚障害者支援	1	50,000
福祉のまちづくり		20	800,000
健康増進		2	20,000
新規立ち上げ		0	0
合計		104	9,725,000

### 【旭区社協独自助成金】

新たな地域活動の立上げや活動の継続と充実を支援するため、旭区社協財源を活用して独自助成金(①ボランティア活動備品購入、②周年事業・記念誌発行等助成金、③地域の見守り支えあい活動助成金)を交付した。令和5年度より、身近な地域での子どもの居場所づくりを応援するため「子どもの未来応援助成金」を新設し、助成した。また、より活動を応援できるように助成額や枠組みの見直しを行い令和6年度より実施できるよう整理した。

	名称	件数	金額(円)	財源	助成内容
1	ボランティア活動備品購入	1	38,000	善意銀行	(上限額10万円)
2	周年事業・記念誌発行等助成金	0	—	—	—
3	地域の見守り支えあい活動助成金	11	330,000	善意銀行	(上限額3万円)
4	子どもの未来応援助成金	6	300,000	あさひ子どもの未来応援基金	(上限額22万円)

【旭区地域活動団体等助成】

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。(2団体、総額 554,000円)

## 2 活動場所の提供

(1) 旭区福祉保健活動拠点の運営 (市受託金収入・負担金収入)15,481千円【15,272千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。(指定管理期間：令和3年度～令和7年度)

ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。(P1参照)

貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 98団体 (令和4年度：93団体)

【利用状況】

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	237	242	148	97.5	99.6	60.9
多目的研修室	114	120	190	46.9	49.4	78.2
点字製作室	153	36	17	63.0	14.8	7.0
録音室	3	11	2	1.2	4.5	0.8
対面朗読室	20	23	139	8.2	9.5	57.2

土曜日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	38	44	2	76.0	88.0	4.0
多目的研修室	19	25	49	38.0	50.0	98.0
点字製作室	9	11	0	18.0	22.0	0
録音室	0	0	0	0	0	0
対面朗読室	1	1	0	2.0	2.0	0

日祝日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	17	24		25.4	35.8	
多目的研修室	22	24		32.8	35.8	
点字製作室	13	5		19.4	7.5	
録音室	0	0		0	0	
対面朗読室	2	3		3.0	4.5	

## 【窓口満足度調査】

窓口満足度調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

実施期間	11月1日(水)～11月30日(木)
回答者	202人
主な意見	① いつも気持ちよく利用させていただき、ありがとうございます。 ② 電話での対応も丁寧にしていただき助かります。 ③ 社協の職員に会う機会がなかった。
改善宣言	① ご利用者さまが気持ちよく拠点を利用できるよう、備品・設備の充実に努めます。 ② ご利用者さまへの積極的なあいさつ・お声かけに努めます。 ③ ご利用者さまが意見を言いやすい雰囲気づくりに努めます。

## 【利用団体懇談会】

利用団体への福祉保健活動拠点利用方法の周知や、団体間の情報交換・連携を目的として開催した。

日 程	1月25日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	21人
内 容	(1) 窓口満足度調査の報告について (2) 旭区福祉保健活動拠点の利用について (3) 情報交換会 (4) 消防訓練(119番通報訓練、AED訓練)

## 協働・連携による福祉課題へのアプローチ

### 1 地域福祉保健計画の推進

第4期(令和3年度～令和7年度)旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の事務局を旭区役所・地域ケアプラザと協働で担い、進行管理や地区別支援チームの支援を行った。

#### (1) 地域福祉保健計画事務局会議の開催(年12回)

日 程	①4月7日(金)②5月12日(金)③6月9日(金)④7月14日(金) ⑤8月4日(金)⑥9月8日(金)⑦10月13日(金)⑧11月10日(金) ⑨12月8日(金)⑩1月12日(金)⑪2月2日(金)⑫3月8日(金)
場 所	旭区役所外部会議室等
人 数	旭区役所(福祉保健課課長、事業企画担当係長、担当職員3名) 地域ケアプラザ(所長2名、地域活動交流コーディネーター2名、生活支援コーディネーター2名) 区社協(事務局長、事務局次長、担当職員2名)

内 容	地域福祉保健計画推進会議、支援チーム向け研修、地域福祉保健計画推進研修、福祉大会等の内容の検討や支援チームの取組状況の共有等を行った。
-----	---

(2) 地域福祉保健計画推進会議の開催

第4期旭区地域福祉保健計画の推進、取組みの振返り及び地域福祉保健施策の総合的な推進等を目的に開催した。

第1回	日 程	7月26日(水)
	場 所	区役所新館大会議室
	人 数	11人(福祉・保健・医療関係団体代表者)
	内 容	(1)第4期きらっとあさひプランの取組状況について (2)福祉保健センターからの情報提供 (3)旭区地域包括支援センター運営状況について

(3) 地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修の開催

目 的	地域で活動する団体や人々が、子どもを取り巻く社会環境や課題を知り、地域が子どもを育てる必要性を再認識し、自身や団体ができることを考える機会とする。
日 程	10月27日(金)
人 数	137人
場 所	旭公会堂
内 容	(1)旭区における子育ての現況 説明：旭区役所こども家庭支援課 課長 河合 太一氏 (2)講演「地域が子どもを育てる」 講師：共育ひろば 主宰 牧岡 英夫氏 (3)旭区内の子どもの居場所についての事例報告 ①今宿小学校放課後自習室の取組について 報告：島田 恒弘氏(今宿小学校校長) 久保田 ゆみ子氏(今宿地区社会福祉協議会 会長代行) 山路 一朗氏(今宿小学校放課後自習室ボランティア) ②カレーハウス笹野台の取組について 報告：津久井 優子氏(笹野台地区社会福祉協議会 事務局長) 穂谷野 浩子氏(笹野台地域ケアプラザ 地域活動交流コーディネーター)



牧岡先生の講演の様子



活動事例報告の様子 (左)今宿地区 (右)笹野台地区



(4) 地区別支援チーム 新任研修の開催

目 的	地区別支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的に開催。
日 程	①5月29日(月) ②5月31日(水) ※両日とも同内容
場 所	①②旭公会堂
人 数	41人(地区別支援チーム新任者等)
内 容	(1)旭区地域福祉保健計画の概要 (2)支援チームの役割・業務、活動事例の紹介 (3)社会福祉協議会の基本的な機能と地区別支援チームでの役割 (4)地域ケアプラザの基本的な機能と地区別支援チームでの役割

(5) 地区別支援チーム 全員研修の開催

目 的	地区別支援チームメンバーが日常業務と地域支援の関連性やチームアプローチについて理解することを目的に開催。
日 程	①10月13日(金) ②10月17日(火)
場 所	①旭公会堂、②旭区役所新館大会議室
人 数	143人(地区別支援チームメンバー)
内 容	(1) 講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉保健計画のもつユニークな性格</li> <li>・地区別支援チームは横浜市の計画推進の強み</li> <li>・分野ごとの「対象者別」「縦割り」を乗り越える</li> <li>・多職種、多業種連携のチームで地域社会の問題解決の力を高める</li> </ul> 講師：愛知東邦大学人間科学部人間健康学科 教授 西尾 敦史氏 (2)地区別支援チームの連携を考えるグループワーク

(6) 地区別計画の推進

①支援チームによる支援

旭区役所、旭区社協、地域ケアプラザで構成する「地区別支援チーム」として19地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進を支援した。

- ・地区別計画推進会議や部会等の会議の開催支援
- ・地区別計画の取組事業の実施支援
- ・地区別支援チームの進捗確認

②第12回きらっとあさひ福祉大会

地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動の周知と福祉保健への関心を高めるために開催した。

日 程	2月10日(土)
場 所	旭公会堂
人 数	194名(受賞者17名、参加者173名、報道関係2名、議員関係2名)
主 催	旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所
内 容	<b>【オープニングアクト】</b> 「はっぴオールスターズ」の皆さんによる歌とダンス

### 【第1部】

#### 1 主催者挨拶

#### 2 令和5年度 旭区社会福祉協議会 社会福祉功労表彰の表彰式典

旭区の社会福祉の増進に功績のあった個人及び団体の方々を表彰しました。

《令和5年度社会福祉功労表彰（内訳）》

地域福祉功労 13名・2団体、寄付金品功労 1名・4団体、特別功労 4名

### 【第2部】

#### 1. 実践報告～みんなが声をかけあえるまち～

テーマ「安心安全なまちづくり～話し合いから広がる見守りの取組～」

コーディネーター 平野 友康氏（横浜創英大学 准教授）

報告者 渋谷 八郎氏（旭北地区まちぐるみ福祉推進会議統括責任者）

高田 充枝氏（旭北地区まちぐるみ福祉推進会議推進責任者）

柴崎 浩志氏（上白根地域ケアプラザ 所長）



表彰式典の様子



実践報告の様子

## 2 見守り・社会参加・生活支援の場の提供(生活支援体制整備事業)

(市社協委託料・会費収入)201千円【228千円】

「見守り・つながり」、「交流・居場所」、「生活支援」の3つの柱を中心に、高齢者等一人ひとりのできることを大切にしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力できる地域づくりを目指し、各取組を進めた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、活動の意義・目的を再確認するとともに、活動を再開した各団体の情報共有を目的とし、連絡会等を実施した。また、本事業の推進役である各地域ケアプラザに配置された2層生活支援コーディネーターの支援等に取り組んだ。

### (1) 1層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

区域共通の課題である移動について、都市整備局都市交通課と2層生活支援コーディネーターの意見交換会を設け、移動支援に関する地域状況の把握を深めた。また、同課のモデル事業に参画し、タクシー事業者と連携した仕組みづくりやデマンド型交通の仕組みづくりを検討した。さらに、買い物困難者が多いという課題があることから、移動販売事業者との調整を行った。

その他、福祉施設が多くあるという特性を活かし、施設分科会と連携して「地域とのつながりづくり」をテーマに意見交換を行った。

(2) 2層（地域ケアプラザエリア）生活支援コーディネーターと協働した取組

「ご近助 ほっこり活動」の各地区での展開については、2層生活支援コーディネーターの協力を得て、地区社協や自治会町内会での説明、自治会町内会圏域での見守りマップ作成等により推進した。

活動団体同士のネットワークの構築や情報交換を目的に、2つの連絡会（食事サービス、ちょこっとボランティア）を開催した。

【食事サービス連絡会】

日 程	① 8月30日（水） ② 1月31日（水）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	① 31団体（53人） ② 29団体（47人）
内 容	①－（1）食中毒予防について （2）意見交換 ②－（1）ノロウイルスについて （2）情報交換

【ちょこっとボランティア連絡会】

日 程	2月7日（水）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	14団体（20人）
内 容	講話「ちょこっとボランティアのあなただからできること」 講師：（公財）ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野氏

【つどいの場通信の発行】

情報紙「旭区『つどい』の場通信」を発行して活動団体や活動希望者へ配布した。（令和4年度までに第1号～第8号を発行）

- ・第9号（令和5年7月発行）  
内容：活動団体紹介（ふらっとカフェさくら（二俣川地区））
- ・第10号（令和5年8月発行）  
内容：活動団体紹介（南希朋遊会コーヒーサロン（希望が丘南地区））
- ・第11号（令和5年9月発行）  
内容：活動団体紹介（フリーハウス川井「わいが家」（川井地区））
- ・第12号（令和5年12月発行）  
内容：活動団体紹介（嵐庵（白根地区））
- ・第13号（令和6年1月発行）  
内容：活動団体紹介（お茶べりサロン「さんさん」（二俣川ニュータウン地区））
- ・第14号（令和6年1月発行）  
内容：活動団体紹介（陽だまりサロン「サンマルシェ」（上白根地区））

(3) 2層生活支援コーディネーターへの支援

生活支援コーディネーター同士の情報交換を目的とした連絡会を実施した。

【生活支援コーディネーター連絡会】（原則毎月第3木曜日）

日 程	①4月20日(木) ②5月18日(木) ③6月15日(木) ④7月20日(木) ⑤8月17日(木) ⑥9月21日(木) ⑦10月19日(木) ⑧11月17日(金) ⑨12月21日(木) ⑩1月18日(木) ⑪2月15日(木) ⑫3月21日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	16人（13地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーター、1層生活支援コーディネーター、旭区役所地域包括ケア推進担当係長、旭区役所事業企画担当職員）
内 容	(1)旭区役所からの情報提供 (2)区社協からの情報提供 (3)市生活支援体制整備推進会議の報告 (4)生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (5)意見交換（圏域の状況報告等）

(4) 研修会の開催

2層生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の理解を深め、コーディネーターとして必要な知識やスキルを学ぶために研修会を開催した。特に新任コーディネーターには、事業の背景や趣旨、地域に住む高齢者一人ひとりの困りごとへの向きあい方や、制度やサービスだけではなく地域でできることについて考える機会となるよう実施した。また、区域課題である「移動支援」をテーマに、全コーディネーターを対象に研修・意見交換会を実施し、地域状況の把握を深めた。

No	開催日	内 容	人数
1	6月26日(月)	新任生活支援コーディネーター勉強会 (鶴ヶ峰地域ケアプラザ)	1
2	11月22日(水)	新任生活支援コーディネーター勉強会 (左近山地域ケアプラザ)	1
3	12月14日(木)	生活支援コーディネーター研修会「地域交通について」 講師：市都市整備局都市交通課職員（全地域ケアプラザ対象）	1
4	12月18日(月)	新任生活支援コーディネーター勉強会 (鶴ヶ峰地域ケアプラザ)	1

(5) その他

各2層生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談と助言、情報提供を行った。また、地域の福祉保健活動団体の活動状況を把握し、地域住民向けに公開しているヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの情報を更新した。

### 3 孤立防止や社会とのつながりづくり(つながり食支援事業等)

(1) つながり食料支援事業の実施

区内農家や、八百屋から野菜の提供を受け、生活にお困りの世帯等への「食」を通じた生活支援「孤立させない！『つながり食料支援事業』」(略称：つな食)を民生委員・児童委員と連携を密にして支援を継続した。(支援件数：13世帯)

(2) 地区社協、地区民児協との連携

生活にお困りの方や地域から孤立しがちな方々を対象に、地区社協や地区民児協と連携し、食料等無料頒布会や相談会を実施し、地域とのつながりづくりを進めた。

(3) ひとり親家庭応援 Day (ひとり親家庭向け旭区産野菜無料頒布会より改称) の開催

JA 横浜メルカートつおか出荷者有志による野菜の提供、ユーコープ横浜中 1 エリア会によるスタディドライブ (文房具寄付) を受けて、ひとり親家庭応援 Day を実施した。当日運営には、旭区更生保護女性会、ボランティアセンター登録者の協力を得ました。

第 1 回	日 程	7 月 9 日 (日)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協、JA 横浜 (協力)
	人 数	22 組
	内 容	① 無料お茶コーナー ② プチ工作コーナー ③ 旭区産野菜、日用品等の無料頒布 ④ 各種相談機関チラシの配布
第 2 回	日 程	12 月 9 日 (土)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協 JA 横浜、ユーコープ横浜中 1 エリア会、旭区更生保護女性会 (協力)
	人 数	20 組
	内 容	① 無料お茶コーナー ② プチ工作コーナー ③ 旭区産野菜、日用品等の無料頒布 ④ 各種相談機関チラシの配布



ユーコープによる文房具の提供



子どもお楽しみコーナー

## 4 地域で子どもを育てる支援

子ども食堂 (地域食堂)、学習支援、フリースペース等の子どもの居場所事業を実施する団体のネットワークづくりを進めるため、新たに子どもの居場所連絡会を立ち上げた。

また、地域の中に「地域で子どもを育てる」意識を高めるため、旭区地域福祉保健計画推進研修会と兼ねて旭区社協子ども支援研修会を実施した。(再掲)

(1) 子どもの居場所連絡会の開催

第 1 回	日 程	9 月 13 日 (水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	参加者	子どもの居場所づくりグループ 13 団体 20 人

		こども青少年局地域子育て支援課 1人 地域ケアプラザ 3人
	内 容	(1)参加者紹介 (2)地域ケアプラザ紹介 (3)意見交換 (4)子どもの居場所に関する助成金について
第2回	日 程	2月19日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	参加者	子どもの居場所づくりグループ 14団体 17人 区こども家庭支援課 3人 地域ケアプラザ 3人
	内 容	(1)参加者紹介 (2)旭区子ども家庭支援課より (3)旭区地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修 「地域が子どもを育てる」について(報告) (4)第8回よこはま地域福祉フォーラムについて (5)ひとり親家庭応援 Day について(報告) (6)意見交換

(2) <区域>子育て関係会議および学習会等への参加

【旭区子育て支援連絡会】

今年度より、連絡会に加え運営委員会にも年2回参加し、子育て支援連絡会の内容についての検討を行った。

第1回	日 程	6月27日(火)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)旭区の母子保健の状況について (2)意見交換「居場所づくり」について (3)令和5年度の連絡会日程と学習会テーマについて
第2回	日 程	2月29日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)令和5年度活動の振り返り (2)活動事例報告 (3)意見交換「次年度につながる旭区の子育て支援について」 (4)令和6年度子育て支援連絡会の活動予定

【旭区児童虐待・DV防止連絡会】

第1回	日 程	6月26日(月)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)旭区の概要・子育てを取り巻く状況について (2)事例検討(貧困が背景にある家庭への支援)

第2回	日 程	11月1日(水)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)研修「広がろう つながろう 重なり合う支援の輪」 講師：明星学院大学 尋問学部福祉実践学科 常勤教授 川松 亮氏 (2)「(子育て中の) 困窮世帯向け情報いろいろ」について

(3) <地域域>子ども支援関係会議等への参加

地区ごとの子ども支援に関する情報交換会や連絡会への参加、子ども支援活動の立上げや活動の継続支援を行った。

## 5 重層的な支援体制に向けたネットワークづくり

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと地区支援やお互いの事業等実施にあたり打ち合わせ等を行い、連携を深めた。

(1) 地域ケアプラザ所長会への参加

日 程	①4月19日(水)②6月21日(水)③8月16日(水)④10月18日(水) ⑤12月20日(水)⑥2月21日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点等
参加者	13 地域ケアプラザ所長、旭区役所関係各課、区社協
内 容	(1)旭区役所、区社協からの連絡 (2)各テーマでの意見交換 等

(2) 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催支援(原則毎月第4木曜日)

連絡会の議題、研修会の内容を検討するため事務局会議から参加し、連絡会の運営支援を行った。また、区役所と共催でコーディネーター向けの研修会を実施した。

日 程	(1) 地域活動交流コーディネーター連絡会 事務局会議 ①4月11日(火)②5月16日(火)③6月12日(月)④7月12日(水) ⑤8月17日(木)⑥9月22日(金)⑦10月12日(木)⑧11月13日(月) ⑨12月13日(水)⑩1月15日(月)⑪2月7日(水)⑫3月8日(金) (2) 地域活動交流コーディネーター連絡会(毎月第3または4木曜日) ①4月27日②5月25日③6月22日④7月27日⑤8月24日⑥9月28日 ⑦10月26日⑧11月24日⑨12月21日⑩1月25日⑪2月22日⑫3月28日 (3) 地域活動交流コーディネーター 研修会 ①3月5日(火)②3月28日(木)
場 所	(1) 鶴ヶ峰地域ケアプラザ (2) 鶴ヶ峰地域ケアプラザ、二俣川地域ケアプラザ (3) ①旭区福祉保健活動拠点 ②旭区役所新館大会議室
人 数	(1) 8人(地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター5名、旭区役所事業企画担当、区社協) (2) 16人(13地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、旭区役所事業企画担当、区社協)

	(3) ①14人 (11 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、旭区役所事業企画担当、区社協等) ②14人 (11 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、旭区役所事業企画担当、区社協)
内 容	(1) 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催内容、研修会の内容、今後のスケジュール等 (2) ①旭区役所、区社協からの連絡事項 ②各部会報告 ③学習グループ(子ども支援をテーマに1年間3グループに分かれて学習した)④関係機関との情報交換会(自立支援協議会、生活支援センター) (3) ①「子育て・子ども支援に関するネットワークづくり(土壌づくり)を考える」 講師：横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授 三輪律江氏 ②「どうする！？地域福祉推進！どう仕事する？地域活動交流CO！ガチガチをゆるゆるに！不安を希望に！前向きなチャレンジャーになろう！」 講師：特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター センター長・副理事長 佐塚 玲子 氏

### (3) 旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	連絡会：①11月30日(木) ②3月19日(火) 事務局会議：①8月17日(木) ②10月19日(木)
内 容	(1)旭区役所、区社協、在宅医療相談室からの連絡 (2)三職種分科会、地域包括研修会報告 (3)各種研修 11月30日(木)「障害支援機関との連携について」 3月19日(火)「横浜市のひきこもり支援について～ひきこもり支援課の取組～」

### (4) 旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	① 5月12日(金) ② 7月14日(金) ③ 9月8日(金) ④ 11月10日(金) ⑤ 3月8日(金)
内 容	(1)旭区役所、区社協からの連絡 (2)各委員会からの報告等

### (5) 地域ケアプラザ運営協議会への参加

- 上白根地域ケアプラザ：1回 7月5日(水)
- 左近山地域ケアプラザ：2回 5月10日(水)、3月13日(水)
- 川井地域ケアプラザ：1回 6月22(木)
- 鶴ヶ峰地域ケアプラザ：1回 7月20日(木)
- ひかりが丘地域ケアプラザ：3回 6月16日(金)、11月30日(木)、3月21日(木)
- 南希望が丘地域ケアプラザ：1回 6月22日(木)
- 今宿西地域ケアプラザ：2回 8月30日(水)、2月27日(火)
- 笹野台地域ケアプラザ：1回 6月17日(土)

- 白根地域ケアプラザ : 2回 5月31日(水)、3月29日(金)
- 二俣川地域ケアプラザ : 1回 6月7日(水)
- 若葉台地域ケアプラザ : 1回 6月2日(金)

#### (4) 地域ケア会議等の参加

区域や各地域ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を通して、地域ケアプラザや旭区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との情報共有を図った。

- ① 区域で開催された地域ケア会議への参加 : 1回
- ② 各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加 : 7地域ケアプラザ、10回
- ③ 地域ケアプラザ・旭区役所との巡回相談への参加 : 3地域ケアプラザ、15回

## <基本目標Ⅲ> 地域福祉保健の取組が広がる仕掛けづくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿③ 「ひとりひとりが、自分らしくいられるまち」

### 《一人ひとりの福祉意識の醸成》

#### 1 福祉教育の推進

地域共生社会の実現に向けて、様々な世代が福祉への意識を高められるよう関係機関および当事者団体との協働により、福祉教育に取り組んだ。(P42 参照)

##### (1) 福祉教育への相談対応

種別	依頼件数(件)	対応件数(件)	コマ数(日)	調整数(回)	延べ参加者数(人)	内容
小学校	17	16	25	555	1,660	視覚障害理解 ボッチャ交流 等
中学校	0	0	0	0	0	
高校	2	2	2	16	233	ボランティアについて 区社協について
その他	2	2	2	37	50	車椅子体験 ジュニアボランティア オリエンテーション
合計	21	20	29	608	1,943	

《協力団体(順不同・敬称略)》

横浜市聴覚障害者協会、View-Net 神奈川、旭区視覚障害者福祉協会、ろう特別支援学校、旭区おりしす会、なかよし支援グループ、地域ケアプラザ 等

##### (2) 旭区地域自立支援協議会への協力

『あっぱれフェスタ』の共催を通し、障害児者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携し、その実現を目指した。

## 2 寄付文化の醸成(善意銀行の運営)

区民・団体・企業等からの寄付(金品・物品)を受け付けた。配分にあたっては、ボランティアセンター運営委員会に諮り、配分を行った。

なお、令和4年度に受けた大口寄付は基金を創設し、「あさひ子どもの未来応援助成金」制度を制定。令和5年度より運用した。

※金品寄付者についてはP43参照。

### 【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数	寄付額(円)	配分額(円)	戻入額(円)	配分残(円)
23,430,102	32	724,145	3,206,118	23,162	20,971,291

※戻入はふれあい助成金配分団体・区社協独自助成金配分団体からの返還分です。

返還金は令和6年度の雑収入として受け入れるため、配分残には含まれません。

### 【寄付金の配分】

	使途	件数	金額(円)	配分先
1	旭区社協独自助成金(地域の見守り支えあい助成金)	11	330,000	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する団体
2	ふれあい助成金事業費	51	2,606,000	地域での訪問活動や見守り活動を実施する団体
3	備品購入	1	38,000	高齢者昼食会(エプロン購入)
4	各種助成金事業費	—	7,902	子育て支援事業、地域交流事業、見守り助成金事業
5	つながり食料支援事業費	—	158,694	孤立や孤独による不安から民生委員の訪問を希望する方
6	ひとり親家庭応援Day事業費	—	65,522	ひとり親家庭等と地域住民とのつながりづくりを目的。野菜を無料頒布。

### 【物品の受入】

寄付件数 39件 ※物品寄付者についてはP44-P46参照。

## 3 広報・啓発

(共同募金) 2,659千円【2,480千円】

広く区民に向けて、地域共生社会の理解と関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

(1)「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の作成・発行

年3回 93,000部 全戸配布

第113号(8月発行)

特集:自分らしくいられる居場所をみんなでつくる

第114号(11月発行)

特集：地域の子どもの育ちを応援！子どもの居場所  
第 115 号（3月発行）

特集：色々なカタチでつなげる想い



第 113 号



第 114 号



第 115 号

(2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、最新情報を発信した。

ホームページ更新回数：34 回

アクセス数：37,091 件



旭区社協ホームページ

(3) 公式 X (旧 Twitter)・Youtube チャンネルの運営

インターネット媒体による情報発信を実施した。

X (旧 Twitter) 投稿数：29 件

(4) ロゴマークの活用

「地域共生社会の実現」をテーマとして引き続き掲げ、広く関係団体や区民に啓発した。



< 基本目標Ⅳ > 区社協組織・活動基盤の整備

《法人・経営部門》

1 区社協基盤整備

(1) 正会員会員数 施設・団体（入会：2、退会：2）

【会員数】

種別	会員数	種別	会員数
第 1 種(施設)	79	第 6 種(ボランティア団体)	45
第 2 種(民児協)	20	第 7 種(福祉団体)	23
第 3 種(地区社協)	19	第 8 種(行政)	4
第 4 種(自治会・町内会)	19	第 9 種(学識)	2
第 5 種(当事者団体)	30		合計：241

## (2) 賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社協と協働で実施した。

総額：5,116,880円（19地区総額・目安額：1世帯70円）

## (3) 福祉基金の積立・活用

地域の福祉保健活動の財源を今後も確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。  
また、地域福祉活動の助成金の原資として福祉基金の活用を行った。

○基本原資（令和6年3月31日時点）

公共債	30,000,000
定期・定額貯金	16,005,983
普通預金	90,150,000
合計	136,155,983

※普通預金の一部は、公共債購入または定期預金に移し替えを予定

○令和5年度運用収入

福祉基金運用収入	127,101
----------	---------

○令和5年度サービス区分間繰入金支出（助成金への活用）

福祉基金繰入金支出	300,000
-----------	---------

## (4) 市民からのご意見、苦情解決への対応

市民からのご意見 0件 苦情 0件

## 2 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

【理事会】6回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

第1回	日程	6月5日（月）
	人数	7人(定数11人)、監事2人 計9人出席
	内容	(1) 新規会員入会について (2) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和4年度事業報告及び収入支出決算報告について (3) 監事候補者の選定について (4) 評議員選任・解任委員会の招集について (5) 定時評議員会の招集について
	結果	(1)～(5) 承認された。
第2回	日程	6月23日(金)
	人数	9人(定数：11人)、監事3人 計12人出席
	内容	(1) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会会長の選定について (2) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会副会長の選定について (3) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会顧問の選任について
	結果	(1)～(3) 承認された。

第3回	日 程	9月6日(水)
	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 計14人出席
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) 処務規程の改正について (3) きらっとあさひ福祉大会 第1部表彰式典の内容について (4) 評議員選任候補者の推薦について (5) 評議員選任・解任委員会の開催について (6) 第2回評議員会の開催について
	結 果	(1)～(6) 承認された。
第4回	日 程	11月21日(火)
	人 数	9人(定数:11人)、監事3人 計12人出席
	内 容	(1) 令和5年度 横浜市旭区社会福祉協議会 表彰審査について (2) きらっとあさひ福祉大会 表彰式典の内容について
	結 果	(1)～(2) 承認された。
第5回	日 程	1月26日(金)
	人 数	8人(定数:11人)、監事3人 計11人出席
	内 容	(1) 令和5年度 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) 旭区社会福祉協議会広報紙(あさひいきいき宣言)の発行方法の変更について (3) 第3回評議員会の開催について
	結 果	(1)～(3) 承認された。
第6回	日 程	3月15日(金)
	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 計14人出席
	内 容	(1) 令和5年度 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) 令和6年度 横浜市旭区社会福祉協議会 事業計画(案)並びに収入支出予算(案)について (3) 令和6年度役員等賠償補償(損害責任保険)の加入内容について (4) 第4回評議員会の招集について
	結 果	(1)～(4) 承認された。

【評議員会】4回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

第1回	日 程	6月23日(金)
	人 数	評議員19人(定数:23人)、理事(会長)1人、監事2人
	内 容	(1) 定款、および規程の変更について (2) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和4年度事業報告および収入支出決算について (3) 理事の選任について (4) 監事の選任について
	結 果	(1)～(4) 承認された。

第2回	日 程	9月27日(水)
	人 数	評議員18人(定数:23人)、理事(会長)1人、監事2人
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) 旭区社会福祉協議会 経理規程の改正について
	結 果	(1)～(2) 承認された。
第3回	日 程	2月16日(金)
	人 数	評議員12人(定数:23人)、理事(会長)1人、監事1人
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について
	結 果	(1) 承認された。
第4回	日 程	3月25日(月)
	人 数	評議員17人(定数:23人)、理事(会長)1人、監事1人
	内 容	(1) 令和6年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について (2) 横浜市旭区社会福祉協議会 理事・監事・評議員選任規程の改正について
	結 果	(1)～(2) 承認された。

【評議員選任・解任委員会】2回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

第1回	日 程	6月8日(木)
	人 数	4人(定数:4人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。
第2回	日 程	9月14日(木)
	人 数	4人(定数:4人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。

【監事監査会】1回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

日 程	5月26日(金)
人 数	3人
内 容	(1) 令和4年度の業務監査 (2) 令和4年度の財務監査
結 果	(1)(2) 適正と認められた。

【業者選定委員会】1回

第1回	日 程	3月19日(火)
	人 数	委員3人
	内 容	(1) 令和6年度 旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」清掃業務委託契約の履行状況について
	結 果	(1) 書面を送付し報告した。

### 【施設分科会】

本会第1種会員の高齢・障害・児童分野の法人施設 79 団体において、地域貢献とは何かを考えていくにあたって、まずはお互いの現状を認識する機会として「地域とのつながりづくり」をテーマに開催した。事例の提出をいただき、参加会員同士での情報交換を行った。

第1回	日 程	2月26日(月)
	人 数	法人施設会員 8団体8人 講師 1人 生活支援 Co 3人
	内 容	(1) 参考事例「神奈川県共同募金会と羽毛再生事業との協業活動」 講師：(株)東洋羽毛 臼杵 礼司 (2) 「地域とのつながりづくり、について」グループワーク
	結 果	(2) 記録を送付し報告した。

### 【民生委員児童委員分科会】

会長会及び正副会長、監事、主任児童委員代表が参加する企画委員会に事務局次長、1層生活支援コーディネーターが参加し、事業について企画段階から参加した。

(区民生委員児童委員協議会会長会は事務局長と1層生活支援コーディネーターが出席)  
また、区民生委員児童委員協議会主催研修の企画・運営に協力した。

第1回	日 程	4月10日(月)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 無料頒布会・生活相談会等への来場者の情報共有について
	結 果	(1) 説明した。
第2回	日 程	5月11日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	40人
	内 容	(1) 令和5年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について
	結 果	(1) 説明した。
第3回	日 程	6月8日(木)
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) ひとり親家庭応援 Day について (2) 令和5年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について (3) 第12回きらっとあさひ福祉大会について
	結 果	(1)～(3) 説明した。
第4回	日 程	7月13日(木)
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 旭区社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
	結 果	(1) 印南 信雄氏(希望が丘中地区)が推薦された。

第5回	日 程	9月12日(火)
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 令和5年度赤い羽根共同募金(街頭募金)の実施について (2) 令和4年度「生活福祉資金借受世帯支援記録票 整備状況報告」について (3) ひとり親家庭応援 Day への来場者の情報提供について (4) 旭区地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修について
	結 果	(1)～(4)説明した。
第6回	日 程	10月12日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 令和5年度赤い羽根街頭募金の結果報告について (2) 「ボランティアニュース」(令和5年9月号)の発行について
	結 果	(1)(2)説明した。
第7回	日 程	11月9日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) ひとり親家庭応援 Day について (2) 孤立させない! 「つながり食料支援事業」について
	結 果	(1)(2)説明した。
第8回	日 程	12月12日(火)
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 令和5年度民生委員活動費(生活福祉資金)の交付について (2) 令和5年度 生活福祉資金 新任民生委員研修会 開催のお知らせおよび取りまとめについて (3) 電話傾聴ボランティアグループ「旭ふれあいコール」のご案内について (4) 旭区地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修の実施報告について (5) 第12回きらっとあさひ福祉大会について
	結 果	(1)～(5)説明した。
	第9回	日 程
場 所	旭公会堂 1号・2号会議室	
人 数	20人	
内 容	(1) 無料頒布会・生活相談会等への来場者の情報提供について (2) 令和5年度「生活福祉資金」新任民生委員研修のためのDVD貸出およびインターネット上での動画視聴の方法について	

		(3) 旭区社協広報紙「あさひいきいき宣言」の発行方法の変更について (4) よこはま地域福祉フォーラムについて
	結 果	(1)～(4)説明した。
第 10 回	日 程	3月12日(火)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1) 令和6年度ボランティア保険加入に関するご案内および「ボランティアセンターニュース」(令和6年2月号)の発行について (2) 希望が丘東地区「暮らし応援会と相談会」への来場者の情報提供について (3) 各種団体委員候補者の推薦について
	結 果	(1)(2)説明した。 (3) 以下のとおり推薦された。 神奈川県共同募金会 旭区支会 副支会長 鈴木 敦子氏(区民児協会長) 常任委員 印南 信雄氏(希望が丘中地区) 常任委員 小川 勝氏(二俣川地区) 監 事 小川 輝晃氏(市沢地区) 旭区更生保護協会 委 員 鈴木 敦子氏(区民児協会長) 保護司候補者検討協議会 委 員 鈴木 敦子氏(区民児協会長)

#### 【地区社会福祉協議会分科会】

地区社協活動に関する連絡事項の他、グループワーク等を通して各地区の取組状況について意見交換・情報交換を行った。

第 1 回	日 程	5月30日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19地区30人
	内 容	1 議題・事務連絡等 (1) 本会評議員候補者の推薦について (2) 第5期横浜市地域福祉保健計画素案 パブリックコメントへの協力について (3) 令和5年度 地区社協分科会スケジュールについて (4) 令和5年度 地区社協状況書等の提出について (5) 各地区社協広報紙の作成で気をつけることについて (6) 令和5年度 赤い羽根共同募金について 2 検討・意見交換 テーマ「地域活動の担い手の発掘・育成方法を考える」 地域活動の課題のひとつ『担い手』について、担い手を広げるため

		のステップに沿って各地区で取り組まれていることを出し合い、整理した。
第 2 回	日 程	7月27日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	18地区28名、ゲストスピーカー3名
	内 容	<p>1 議題・事務連絡等</p> <p>(1) 旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰候補者の推薦について</p> <p>(2) 旭区社会福祉協議会事業報告について</p> <p>(3) 子どもの居場所連絡会の開催について</p> <p>(4) 旭区社協子ども支援研修・地域福祉保健計画推進研修会について</p> <p>(5) 第12回きらっとあさひ福祉大会 開催日時について</p> <p>(6) ウィリング横浜主催研修『地域づくりに生かせる組織運営を学ぶ』の参加者について</p> <p>(7) 令和5年度 助成金決定団体一覧について</p> <p>(8) 地区社協活動費(5万円・市社協)の申請事業について</p> <p>2 活動事例発表、検討・意見交換</p> <p>テーマ「他地区から学ぶご近助ほっこり活動」 ～地域の見守りは顔の見える関係から すべての行事は減災・防災～</p> <p>事例発表：保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町自治会 会 長 吉澤 進氏 副 会 長 佐々木 安恵氏 保土ヶ谷区社会福祉協議会 地区担当 石井 好美氏</p>
第 3 回	研修会	10月27日(金)開催の地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修を地区社協分科会の研修(第3回地区社協分科会)として位置付け実施。(P14参照)
第 4 回	日 程	11月29日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19地区33名、研修講師1名
	内 容	<p>1 議題・事務連絡等</p> <p>(1) 次年度地区社協分科会・研修内容アンケートについて</p> <p>(2) ウィリング横浜主催『地域づくりに生かせる組織運営を学ぶ』の研修報告について</p> <p>(3) 地区社協活動費(市社協)の申請事業の実施状況について</p> <p>(4) 子どもの居場所連絡会の報告について</p> <p>(5) 旭区社協子ども支援研修・地域福祉保健計画推進研修会の報告について</p> <p>(6) 旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰者の決定について(報告)</p> <p>(7) 共同募金(街頭募金)の結果報告・お礼について</p> <p>(8) 第12回きらっとあさひ福祉大会について</p> <p>2 広報研修会</p> <p>(1) 各地区の広報紙の作成について</p>

		<p>広報紙担当になった経緯や、作成する上で気をつけていることなどを以下の地区社協広報紙担当者に伺った。</p> <p>旭北地区社会福祉協議会 事務局長 飯塚 ひろみ氏 市沢地区社会福祉協議会 事務局次長 坂井 英美子氏</p> <p>(2) プロから学ぶ広報紙作成のコツ 講師：株式会社オープン 代表 高橋 誠一氏より</p>
第5回	日程	1月30日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	19地区29人
	内容	<p>1 議題・事務連絡等</p> <p>(1) 次年度 地区社協分科会 開催日程について</p> <p>(2) 区社協広報紙(あさひいきいき宣言)の発行方法変更について</p> <p>(3) 第5期地域福祉保健計画 策定検討部会委員の選出について</p> <p>2 検討</p> <p>テーマ「次年度 地区社協分科会・研修内容のテーマについて」</p>
第6回	日程	3月22日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	18地区33人
	内容	<p>1 議題・事務連絡等</p> <p>(1) 次年度の地区社協分科会の内容について</p> <p>(2) 旭区社会福祉協議会賛助会費について</p> <p>(3) 地区社協活動費(市社協/区社協)の提出について</p> <p>(4) 次年度 旭区社協 助成金・補助金情報一覧について</p> <p>(5) 地区社協活動費について、申請・精算書の作成について 会計担当者向けに活動費の説明、作成の注意事項等のミニ研修を行った。</p> <p>(6) 地区社協状況書ヒアリングについて</p> <p>(7) 第12回きらっとあさひ福祉大会 開催報告について</p> <p>(8) ジュニアボランティア体験感想文集の配付について</p> <p>(9) 鶴ヶ峰地区作成 作業所活動PRシートについて</p>



瀬戸ヶ谷自治会の見守り講演会の様子



広報紙づくり研修会の様子

### 【地域組織分科会】

会議に出席し、各地区連合会長との連携を深めた。(区連合町内会自治会連絡会定例会への事務局長が出席)

第1回	日 程	4月18日(火)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の配布及び配布謝金の免除について (2)令和5年度日本赤十字社会員増強運動(会員募集)について (3)令和5年度旭区更生保護協会会費の納入について
	結 果	(1)(2)(3)承認された。
第2回	日 程	5月18日(木)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)第12回きらっとあさひ福祉大会の開催日程について
	結 果	(1)情報提供した。
第3回	日 程	6月19日(月)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)令和5年度共同募金運動資材調査について (2)第73回‘社会を明るくする運動’実施に伴うポスター掲示について
	結 果	(1)(2)承認された。
第4回	日 程	7月18日(火)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)広報紙「あさひいきいき宣言第113号」の戸別世帯配布について
	結 果	(1)承認された。
第5回	日 程	8月18日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	依頼及び説明事項なし。
第6回	日 程	9月19日(火)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)令和5年度共同募金運動へのご協力について
	結 果	(1)承認された。
第7回	日 程	10月18日(水)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)広報紙「あさひいきいき宣言第114号」の戸別世帯配布について (2)広報紙「保護司会だより旭」の配布について
	結 果	(1)(2)承認された。

第8回	日程	11月16日(木)
	場所	旭区役所 新館大会議室
	人数	19人
	内容	(1) 旭区地域福祉保健計画推進研修・旭区社協子ども支援研修の報告について
	結果	(1) 報告した。
第9回	日程	12月18日(月)
	場所	旭区役所 新館大会議室
	人数	19人
	内容	(1) 第12回きらっとあさひ福祉大会について
	結果	(1) 承認された。
第10回	日程	1月18日(木)
	場所	旭区役所 新館大会議室
	人数	19人
	内容	依頼及び説明事項なし。
第11回	日程	2月19日(月)
	場所	旭区役所 新館大会議室
	人数	19人
	内容	(1) 令和6年度共同募金運動への協力依頼について (2) 令和6年度日本赤十字社会員増強運動(会費募集)にかかる必要資材等のアンケートについて (3) 令和6年度社会福祉協議会賛助会費募集へのご協力について (4) 広報紙「あさひいきいき宣言第115号」の戸別世帯配布について
	結果	(1)～(4) 承認された。
第12回	日程	3月18日(月)
	場所	旭公会堂講堂
	人数	19人
	内容	依頼及び説明事項なし。

### 3 社会福祉功労表彰

長年にわたり、旭区において地域福祉の推進に携わってこられた個人・団体の功績をたたえ、地域福祉の一層の充実を図るため、令和5年度旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰を実施した。(敬称略)

《地域福祉功労(13個人2団体)》

廣川 澄枝、大貫 久子、中里 勝子、大畑 恵美子、森 正代、松本 歌子  
皆川 優、佐竹 久子、今吉 良子、我妻 ひとみ、川島 正晴、坂東 節子  
川崎 ナカ、若葉台西自治会サークルやまもも文庫、若葉台二丁目南子ども会

《寄付金品功労(1個人4団体)》

荻窪 邦昭、株式会社 清光社、旭区舞踊協会、神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部  
旭ジャズまつり実行委員会

《特別功労(4名)》

栗原 豊彦、近藤 和義、石原 泉、増田 恵子

受賞者へは表彰状と障害者地域作業所製品の詰め合わせを記念品として贈呈した。

## 4 災害時における支援体制の構築

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「旭区災害ボランティア連絡会」役員会や、各訓練等に参加し、情報共有及び活動支援を行った。

また、ICT の活用を目指し、災害ボランティアセンター運営をはじめとした災害時に活用する情報共有システム等の運用を検討した。

さらには、地震により被災した地域の災害ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣した。

## 5 コンプライアンスの推進、人材育成

### (1) コンプライアンスの推進

コンプライアンスの推進のため、区社協内部で発生した事件・事故、事務ミスやヒヤリハットを職員会議や朝礼等にて共有し、再発防止策を検討共有した。また、市社協全体の事故報告事例を区社協内でも共有し、事故防止に努めた。

ヒヤリハット件数 13件 事故件数 2件

### (2) 地域福祉関連団体との連携

本会事業の目的を達成するために、申請のあった各団体活動に対し、共催・後援した。(共催：1件、後援：8件)

	項目	事業名	主催者名	内容
1	後援	'23 横浜旭ジャズまつり YOKOHAMA SWING EMOTION VOL. 32	旭ジャズまつり 実行委員会	期日：8月27日(日) 場所：こども自然公園野球場 内容：野外ジャズイベント
2	後援	全建総連 神奈川土建 第46回住宅デー	神奈川土建 一般労働組合 横浜西支部	期日：6月11日(日) 場所：中希望が丘くすのき公園 神奈川土建横浜西支部 内容：住宅相談、チャリティー活動(包丁研ぎ、まな板削り)
3	後援	こども夏休み スペシャル	旭区市民活動 生涯学習アド バイザークラ ブ	期日：7月22日(土)29日(土) 8月19日(土)26日(土) 場所：ぱれっと旭・みなくる 内容：小学生を対象とした講座
4	後援	知的障害者 ガイドヘルパー 研修	一般社団法人あ おばの虹	期日：11月4日(土)~12月31日(日)、 2月17日(土)~3月31日(日) 場所：ぱれっと旭 内容：ガイドヘルパー育成研修

5	後援	くらし応援会と相談会	希望が丘東地区 社会福祉協議会	期日：1月28日(日) 場所：春の木会館 内容：食品・日用品無料頒布会、相談会
6	後援	中田喜直生誕100周年記念旭区コンサート	中田喜直ゆかりのコンサート実行委員会	期日：12月10日(日) 場所：旭公会堂 内容：演奏会
7	後援	第23回希望が丘南地区クリーン活動	希望が丘南地区 社会福祉協議会	期日：12月3日(日) 場所：善部小学校校庭及び希望が丘南地区周辺 内容：美化・清潔保持イベント
8	共催	第10回あっぱれフェスタ	旭区地域自立支援協議会	期日：12月20日(水)22日(金) 場所：ぱれっと旭・旭公会堂 内容：ショップ、イベント実施
9	後援	K.K ネットまつり	希望が丘南地区子育て応援ネットの会(K.K ネットの会)	期日：12月10日(日) 場所：希望が丘地区センター 内容：親子向けクリスマス会

## 6 団体事務

### (1) 神奈川県共同募金会旭区支会

一般募金・年末たすけあい募金募集において、18,074,216円ものご協力をいただきました。お預かりした募金は神奈川県共同募金会に全額送金した。旭区内ではボランティア活動や地域活動の運営費に活用する。

### (2) 日本赤十字社神奈川県支部 横浜市地区本部 旭区地区委員会

日赤会費募集には、11,258,884円ものご協力をいただいた。日赤神奈川県支部に全額送金した。また、区内での火災等に対する見舞金等を支出した。

### (3) 旭保護司会

犯罪や非行をした人に対する更生活動を通して地域社会の理解を深め、犯罪や非行を未然に防ぐ活動を進める保護司活動を支援した。

### (4) 旭区更生保護女性会

女性の立場から犯罪や非行を未然に予防し、明るい社会づくりを進める更生保護活動を支援した。

### (5) 旭区更生保護協会

更生保護活動を行う団体への活動費助成及び、犯罪や非行のない街づくりを目指す「旭区社会を明るくする運動」等の実施のため募集した会費は680,519円になった。

また、社会を明るくする運動は7月14日(金)に鶴ヶ峰、二俣川、希望が丘の3駅で啓発を実施。

令和5年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): 8,195,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	さえずり	集いの場活動	400,000
2	いきいき	集いの場活動	300,000
3	子育て応援サークル スタイルきっず	集いの場活動	400,000
4	サロンあさひ	集いの場活動	180,000
5	えくぼ	集いの場活動	180,000
6	フリーハウス川井「わいが家」	集いの場活動	120,000
7	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
8	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
9	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
10	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
11	今宿東町お茶のみサロン「ひなた」	集いの場活動	80,000
12	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
13	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
14	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
15	ほほえみ会	集いの場活動	80,000
16	旭北第一ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
17	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
18	今宿東町老人昼食会	集いの場活動	80,000
19	旭中央つぶらの会	集いの場活動	80,000
20	みなまきよこ連「お休み処」	集いの場活動	80,000
21	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
22	ワンコインカフェ吹上の会	集いの場活動	80,000
23	プログラミングこどもサロン	集いの場活動	80,000
24	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
25	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
26	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
27	若葉台北自治会高齢者見守り活動「サロン若北」	集いの場活動	80,000
28	希望が丘松の会	集いの場活動	80,000
29	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
30	サロンふるさと	集いの場活動	80,000
31	希望が丘・希望が丘南地区子育て応援ネットの会(K.K.ネットの会)	集いの場活動	80,000
32	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
33	親子サロン	集いの場活動	40,000
34	A2ライン	集いの場活動	60,000
35	お茶べりサロン さんさん	集いの場活動	80,000
36	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
37	旭南部地区子育て地域サロンMaMa♡Kids	集いの場活動	50,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
38	旭南部地区お茶のみ地域サロン ほっと	集いの場活動	35,000
39	子育てサロン ぽっかぽか	集いの場活動	40,000
40	みんきちcafé	集いの場活動	40,000
41	桐が作ほっと	集いの場活動	35,000
42	サロンさくら会	集いの場活動	50,000
43	スマイルカフェ	集いの場活動	80,000
44	和&輪	集いの場活動	25,000
45	はなみずきの会	集いの場活動	80,000
46	ふらっとカフェさくら	集いの場活動	80,000
47	らんらん食堂	集いの場活動	80,000
48	サロン孫子老	集いの場活動	180,000
49	みんなの集いの場	集いの場活動	60,000
50	コミュニティカフェ「しおんカフェ」	集いの場活動	300,000
51	若葉台東ふれあいサロン	集いの場活動	180,000
52	ホームタウンみなみ Minnade	集いの場活動	80,000
53	第3鶴の会	集いの場活動	50,000
54	第一鶴の会	集いの場活動	50,000
55	ちょこっと応援団	家事・生活支援活動	160,000
56	旭ふれあいコール	家事・生活支援活動	100,000
57	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	50,000
58	ちょこっとボランティアかわい	家事・生活支援活動	80,000
59	リトルサービス	家事・生活支援活動	40,000
60	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	80,000
61	しらね相友さくら会	家事・生活支援活動	80,000
62	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
63	おべんとう ひよどり	配食活動	300,000
64	わかたけの会	配食活動	160,000
65	宅配ほほえみ	配食活動	160,000
66	お元気会	配食活動	80,000
67	つづきの会	配食活動	80,000
68	特定非営利活動法人 あさひ	送迎活動	350,000
69	特定非営利活動法人 たちばな福社会	送迎活動	250,000
70	NPO法人いっばい若葉台事業所 のこのこの会	送迎活動	300,000
71	特定非営利活動法人 オールさこんやま	送迎活動	250,000

## 【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): 710,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ハーモニカクラブあすなろ	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
2	なかよし支援グループ	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
3	特定非営利活動法人 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	150,000
4	失語症 旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
5	BUMDDY F.C	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
6	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
7	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
8	Blue lace～ブルーレース～	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
9	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	30,000
10	きらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
11	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000

## 【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円): 800,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ホッと・ミュージック	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
2	若葉台リンク	②セルフヘルプグループ	40,000
3	男の元気食堂	⑧地域住民交流	40,000
4	旭区ひまわりの会	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
5	なかおバタフライガーデンの会	⑨自然環境活動	40,000
6	カフェボラふたまたがわ	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
7	ぼろろん座	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
8	親子グループ遊	⑫子育て支援事業	40,000
9	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
10	日本語ボランティア「虹の会」	③外国人支援	40,000
11	ばれっと旭おもちゃ病院	④おもちゃドクター	40,000
12	つながりの丘	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
13	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	②セルフヘルプグループ	40,000
14	コーヒーボランティア ペリゴール	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
15	表現のチカラ	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
16	JUMP★UP-KIDS	⑫子育て支援事業	40,000
17	笹野台地区ささえあい連絡会Aグループ	⑩福祉情報誌	40,000
18	8棟助け合い(樹木・花壇ボランティア)	⑨自然環境活動	40,000
19	白根サロン	⑧地域住民交流	40,000
20	左近山小高団地自治会囲碁クラブ	⑧地域住民交流	40,000

## 【あさひふれあい助成金 健康増進区分】

総額(円): 20,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	にこにこペタンク	高齢者	10,000
2	すずらん会	高齢者	10,000

## 【旭区社協独自助成金 ボランティア活動備品購入】

総額(円): 38,000

	団体名	購入物品	助成額(円)
1	旭中央つぶらの会	エプロン	38,000

## 【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): 330,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	若葉台第一自治会	サロン	30,000
2	ミーミの部屋	サロン	30,000
3	スノードロップ	サロン	30,000
4	すいーとぴー	体操教室	30,000
5	どんぐりの輪	読書会	30,000
6	さくらカフェ	サロン	30,000
7	ふれあいみなみ水曜会	サロン	30,000
8	若葉台中央自治会 お茶のみサロン	サロン	30,000
9	わくわくストレッチ	体操	30,000
10	棋楽会	将棋を通じた交流活動	30,000
11	市沢地区民生委員児童委員協議会	個別訪問・安否確認	30,000

## 【旭区社協独自助成金 子どもの未来応援】

総額(円): 300,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	ホームタウンみなみ Minnade	多世代食堂	40,000
2	白根みらい食堂	多世代食堂	40,000
3	らんらん食堂	地域食堂	40,000
4	若葉台子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」	地域食堂	40,000
5	カレーハウス笹野台	地域食堂	40,000
6	一般社団法人かけはし	居場所づくり	100,000

## 【旭区地域福祉活動団体助成】

総額(円): 554,000

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	広報紙発行	104,000

令和5年度 福祉教育実施状況

福祉教育【学校に向けたもの】

No	学校名・依頼者名	実施日	内容	講師・協力団体
1	二俣川看護福祉高等学校	6月	社会福祉協議会の役割について ボランティアについて	旭区社会福祉協議会職員
2	さちが丘小学校	6月	車椅子体験	二俣川地域ケアプラザ
3	左近山小学校	10月	高齢者を知る・地域で高齢者を 支える取組を知る	左近山地域ケアプラザ 左近山地区の地域の方
4	南本宿小学校	11月	(国土交通省関東運輸局主催) 交通バリアフリー教室	国土交通省関東運輸局 旭区視覚障害者福祉協会
5	川井小学校	11月	聴覚障害理解	ろう特別支援学校教員
6	左近山小学校	11月	高齢者について	ひまわりの会 左近山CP
7	本宿小学校	11月	視覚障害理解	View net神奈川
8	今宿南小学校	11月	視覚障害理解	ろう特別支援学校教員
9	鶴ヶ峰小学校	11月	視覚障害理解	View net神奈川
10	若葉台小学校	11月	聴覚障害理解	西区聴覚障害者協会 手話交流会ほたる
11	若葉台小学校	12月	視覚障害理解	Virew net神奈川
12	善部小学校	12月	視覚障害理解	Virew net神奈川
13	川井小学校	12月	視覚障害理解	Virew net神奈川
14	白根小学校	1月	聴覚障害者理解	横浜市聴覚者協会
15	白根小学校	1月	ボッチャの取り組みについて (体験希望)	旭区おりしす会 ふれあいサロン双葉会
16	今宿小学校	1月	視覚障害者理解	旭区視覚障害者福祉協会
17	白根小学校	1月	視覚障害者理解	View Net神奈川
18	旭陵高校	3月	ボランティアについて	旭区社会福祉協議会 ひかりが丘地域ケアプラザ 上白根地域ケアプラザ

福祉教育【その他】

No	学校名・依頼者名	実施日	内容	講師・協力団体
1	NALC横浜	10月	車椅子体験	旭かけはし
2	旭区民生委員児童委員協 議会	7月	ボランティアについて	旭区社会福祉協議会職員

## 令和5年度 金銭寄付者一覧

善意銀行

【寄付金の受入】 件数：32件 預託金：724,145円

No.	受領日	寄託者名 (敬称略)	金額 (円)
1	4月11日	佐々 徳雄	20,000
2	5月15日	小川 竹子	20,000
3	5月22日	荻窪 邦昭	10,000
4	5月29日	旭区舞踊協会	50,105
5	5月30日	日検川崎OB会	50,337
6	5月25日	匿名	10,000
7	6月8日	匿名	100,000
8	6月14日	神奈川土建一般労働組合横浜西支部	5,411
9	6月28日	佐々木 祥	2,000
10	7月26日	伊志嶺 朝之	3,000
11	7月26日	匿名	1,160
12	7月27日	株式会社 清光社	100,000
13	9月1日	あさひ茶花道協会	22,010
14	9月4日	匿名	10,000
15	10月16日	佐々 徳雄	10,000
16	10月17日	匿名	10,000
17	10月25日	荻窪 邦昭	10,000
18	11月15日	匿名	10,000
19	11月30日	匿名	3,000
20	12月4日	都岡町内会チャリティーもちつき大会	43,120
21	12月12日	匿名	68,000
22	12月12日	匿名	13,000
23	12月16日	伊志嶺 朝之	3,000
24	12月19日	希望が丘 竹の会	40,000
25	12月20日	伊藤 志壽江	20,000
26	1月9日	匿名	13,000
27	1月15日	荻窪 邦昭	10,000
28	2月10日	伊志嶺 朝之	1,000
29	3月5日	公益社団法人 保土ヶ谷法人会	40,000
30	3月9日	匿名	2
31	3月29日	伊志嶺 朝之	2,000
32	3月30日	旭華会	24,000

## 令和5年度 物品寄付者一覧

善意銀行

【寄付物品の受入】 件数：39件 [配分] 件数：305件

No.	寄付日	寄付物品名（寄付者／敬称略）	内容	配分先	配分箇所数
1	4月4日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	23
2	4月10日	野菜 （匿名）	野菜（6世帯）	つながり食料支 援事業	6
3	4月10日	野菜 （西山 勉）	野菜（6世帯）	つながり食料支 援事業	6
4	5月20日	コスメ （一般社団法人バンクフォースマ イルズ）	コスメギフトセット 40セット	区社協 食料支援	1
5	6月12日	日用品 （匿名）	タオル 約20枚	区社協主催 頒布会	1
6	6月27日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	27
7	7月3日	日用品 （匿名）	タオル9枚	区社協主催 頒布会	1
8	7月3日	日用品・食料 （万騎が原地区社会福祉協議会）	生理用品、お菓子	区社協主催 頒布会	1
9	7月6日	食器 （匿名）	皿20枚	区社協主催 頒布会	1
10	7月21日	コンサートチケット （旭ジャズまつり実行委員会）	50枚	第5種会員 障害者団体等当 事者団体	13
11	8月2日	文房具 （匿名）	鉛筆12本	区社協主催 頒布会	1
12	9月4日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（11世帯）	つながり食料支 援事業	11
13	9月4日	野菜 （西山 勉）	野菜（11世帯）	つながり食料支 援事業	11
14	9月4日	野菜 （匿名）	野菜（11世帯）	つながり食料支 援事業	11

No.	寄付日	寄付物品名（寄付者／敬称略）	内容	配分先	配分箇所数
15	9月19日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	25
16	9月25日	日用品 （匿名）	シャンプー2本	区社協主催 頒布会	1
17	10月16日	野菜 （西山 勉）	野菜（11世帯）	つながり食料支 援事業	11
18	10月16日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（11世帯）	つながり食料支 援事業	11
19	10月31日	食料 （匿名）	そば8袋	つながり食料支 援事業	1
20	11月6日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（9世帯）	つながり食料支 援事業	9
21	11月6日	野菜 （西山 勉）	野菜（9世帯）	つながり食料支 援事業	9
22	11月7日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	24
23	11月9日	介護用品 （成田 清）	車椅子1台	区社協	1
24	11月18日	ペーパークラフト 「マルチディスプレイスタンド」 （一般財団法人 ポケモン・ウィ ズ・ユー財団）	ペーパークラフト 10箱	区内子ども食堂 8カ所	8
25	12月4日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
26	12月4日	野菜 （西山 勉）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
27	12月5日	生理用品、食料 （万騎が原地区社会福祉協議会）	生理用品、お菓子	区社協主催 頒布会	1
28	12月9日	食料 （匿名）	米2kg 3袋	区社協 食料支援	1

No.	寄付日	寄付物品名（寄付者／敬称略）	内容	配分先	配分箇所数
29	12月23日	食料 （匿名）	乾麺、うどん	区社協主催 頒布会	1
30	1月9日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	30
31	1月15日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
32	1月22日	食料 （匿名）	のり、こんぶ、 ハンバーグ缶	区社協 食料支援	1
33	2月5日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
34	2月5日	野菜 （西山 勉）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
35	2月17日	古切手 （鶴ヶ峰本町町内会婦人部）	古切手3kg	更生保護協会 （予定）	—
36	2月23日	車椅子 （匿名）	車椅子1台	当事者団体	1
37	3月4日	野菜 （八ッ橋 政彦）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
38	3月4日	野菜 （西山 勉）	野菜（8世帯）	つながり食料支 援事業	8
39	3月18日	理容福祉券 （神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部）	80枚 （40枚×2か月分）	旭区内障害手帳 所持者	—

※—はR6で配分